

子宮頸癌に対する高線量率腔内照射の治療計画独立検証法の開発

1. 研究の対象

大阪大学医学部附属病院にて、2012年4月から2018年5月まで、子宮頸がんの高線量率腔内照射を受けられた方

2. 研究目的・方法

1. 研究の概要: 子宮頸がん腔内照射の治療計画妥当性を評価し、ミスの有無を自動的に判別するシステムを構築します。
2. 研究の意義: 腔内照射はCT撮影から治療まですべて同日に行われるため、限られた時間内で治療内容が適切か確認作業を行う必要があります。自動的にプランをチェックしてミスがあれば抽出し、治療内容の妥当性を評価できるシステムを開発することができれば、複雑な治療でも高い精度で安心して治療を行うことができると期待されます。
3. 方法: 大阪大学医学部附属病院にて、2012年4月から2018年5月までに子宮頸がんの高線量率腔内照射を受けられた方を対象に、治療計画情報から解析した線量分布のパラメータと治療時間の相関関係を解析します。
4. 研究実施期間: 研究計画書承認後～2022年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 臨床情報(病状の経過、副作用)、放射線治療計画のデータ(医療画像、治療計画情報)

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織

- 研究代表者 大阪大学医学部附属病院オンコロジーセンター 特任助教 秋野祐一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

秋野祐一

大阪大学大学院医学系研究科

放射線治療学講座

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2 (D10)

Tel: 06-6879-3482

Fax: 06-6879-3489

研究責任者:

大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター 秋野祐一

-----以上